



社会福祉とアジール～犯罪・非行・依存に関する フィールドワークからの社会学的考察～

社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻

相良 翔 准教授

【研究分野】 犯罪社会学、福祉社会学、医療社会学、司法福祉
【キーワード】 アジール、回復、ケア、立ち直り、パターナリズム
【URL】 <https://researchmap.jp/sho-sagara>



研究概要

更生保護施設、民間の薬物依存リハビリテーション施設であるダルク（Drug Addiction Rehabilitation Center）でのフィールドワークを通じて、研究しています。端的に言えば、犯罪・非行や依存の後の「生活」に関する研究です。

また、それらの知見を踏まえて、ケアとアジール（避難所や無縁所などの意味をもつ言葉）の関係、支援におけるパターナリズム等についても検討しています。

研究紹介

①：更生保護施設に関する社会学的研究

更生保護施設の処遇のリアリティの記述を行い、そのリアリティと社会のあり方の関連について考察しています。

②：ダルクに関する社会学的研究

ダルクの実践のリアリティの記述を行い、そのリアリティと社会のあり方の関連について考察しています。

※業績に関してはQRコードにアクセスしてご確認ください。

講座テーマ紹介

①「犯罪および非行に関する社会学的視点からの考察」

⇒この講座では犯罪および非行に関する社会学的視点からの見解について紹介し、犯罪および非行への対応において必要なことを考えていきます。

②「支援者が抱えるストレスに関する分かち合い」

⇒この講座では支援者が抱えるストレスについてグループワーク形式で分かち合い、今後の支援実践・施設および機関運営・社会のあり方などについて考えていきます。

※講座内容に関しては、相談いただいた上で変更することも可能です。

アピールポイントなど

これまでにフィールドワークという手法から、「立ち直り」や「回復」のリアリティについて記述・考察を重ねてきました。現場のリアリティについて把握する方法やそこから考察する方法をお伝えして、よりよい現場のあり方を一緒に考えていく機会を持てれば幸いです。